

だんだん



隠岐広域連合立 隠岐島前病院
<http://fish.miracle.ne.jp/dozen/>

はじめに

夏本番到来！

隠岐島前病院では、本年度より加わった新メンバー（看護師3名、事務職員3名）もすっかり業務に慣れたようです。島が一番いい季節に入ってきました。先輩たちに引っ張られて、海へ、海へ・・・海水浴・ダイビング・素潜り・イカ釣り・魚釣り・・・しっかり島の生活を満喫してもらいたいです。

仕事においても、もちろん！！みんな頑張っています！

院長は島の診療を行いながら土日になると、色々とところに講演に出かけています。院内では多くの学生が出たり入ったりしながら、恒例の中高生、医学生、看護学生の地域医療体験や、研修医の一カ月間交代での地域医療研修が行われ地域医療についての熱い会話が多いです。さらに、研修医の研修報告会では毎回、地域の方に参加して頂きご意見やご感想もいただいています。

また、院内研修会も行っています。先日は岡山大学よりせん妄対策チームの方々が来てくださいました。2日間に渡り、院内の職員だけでなく施設職員の方やケアマネージャー、役場職員の方々と一緒に楽しく勉強することが出来ました。せん妄対策は、その人のこと（患者さん）をしっかりと理解したうえで関わる事が大切でした。日ごろ私達が実践している地域医療の関わり方と同じであることから、せん妄対策の勉強会はさらに実りあるものとなりました。

また、院内では病児病後児保育室がスタートしています。働くママさん達にはとても助かるようです。一職員としては、保育士さんと仲良く過ごしている風景に癒されています。

多くの人達によって支えられ、繰り広げられる魅力的な地域医療の実践地としてしっかり歩みたいと思います。皆様どうか引き続き御支援のほど、よろしく願い申し上げます。猛暑対策とともに、ご自愛のもとお過ごしくださいますように。

★★★今回の内容★★★

- *はじめに
- *七夕会
- *6ヶ月間の研修を終えて
- *病児病後児保育について
- *おわりに

看護部長 松浦 幸子



1、七夕会

今年も食堂の入り口には、患者さん・スタッフの沢山の願いが込められた短冊が飾られました。
中には無理難題もチラホラありましたが・・・(笑)
どうかみなさんの願いが叶いますように。



さて今回の七夕会！

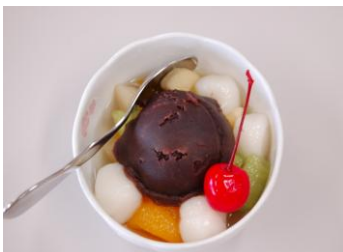


ささの葉さ～らさら♪のきばに揺れる～♪
みんなで七夕さまを歌い、七夕会はスタートです。
「笑い」をテーマにゲームで楽しみました。私たちの体には生まれながら備わっている、自分の病気を自分で治す力「自己治癒力」があり、笑いはそれを高めてくれるんだそうです。

また、病気の予防にもつながります。笑うことにそんな効果があるなんて。これは笑わずにはおられません！患者さん達には大いに笑っていただきました。

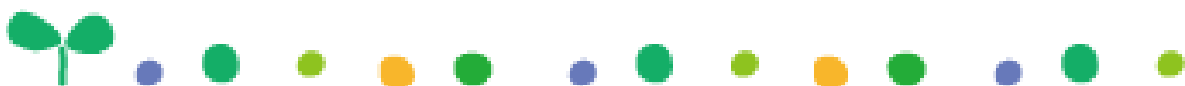
ゲームに登場したのは5枚の「笑」カード。表には「笑」の文字、裏にはそれぞれ「はひふへほ」の文字が書いてあります。このカードを引いてもらった患者さんには、「はっはっは」と笑ったり、「ひ～ひっひっひ」と笑ったり、「ふふふ」「へへへ」「ほ～ほほほ」と大きな声で笑ってもらいました。それを見聞きしている周りのみんなもつられて大笑いです。会場中が笑いに包まれました。決して作り笑いとかではなく、患者さん達のとってももうまい本格的な笑いにはびっくりしてしまいました。「あ～こんなに笑って、シワが・・・」と青くなっているスタッフもいましたが・・・(笑)。いいんです！笑いは最高です“終わった後には患者さんから「ありがとう。楽しかったよ。」と声をかけていただきました。

病気を抱えた患者さん達ですので、普段はなかなか笑ってばかりもいられないのですが、少しでも気分が紛れるように、心穏やかに治療に専念していただけるように、スタッフも今まで以上に笑顔で対応していけたらなと思いました。



たくさん笑ったあとは、厨房さん手作りのデザート♪フルーツ白玉あんみつをいただきました。季節ごとにある催し物ですが、患者さん一番の楽しみはやはりこのおいしいデザートだと思います。

次は9月にあるお月見会です。どうぞお楽しみに！ 看護助手 濱田・長府





2. 6か月間の研修を終えて

看護師 梅野 泰代

特定非営利活動法人ジャパンハートの国際看護長期研修の一環である離島・僻地医療研修で2月に島前病院にやってきました。

突然ですが、みなさんは「個別性のある看護」という言葉をご存知ですか？

看護師は学生時代から耳にタコができるくらい言われ続けている言葉なのですが。

「同じ病気でも年齢・性別・性格・生活環境などそれぞれ違う、勘違いしないで下さいね、あなた達は看護師になるんです。看護師は病気を看ているのではありません、人を看ているのです。その人の為に何が必要か？1番良い解決策は何か？全力で考えなさい、そして動きなさい。」

学生時代の恩師が言った言葉です。病気を看ているのではないという言葉は少し語弊があるかもしれませんが、患者さんは沢山いるけれど1対1の看護をしなさいと言っていると理解していました。

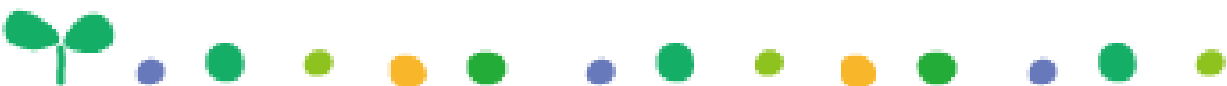
ずっとこの言葉を胸に仕事を続けてきたのですが、看護師の仕事は3Kや9Kと呼ばれているように結構過酷です。仕事も盛りだくさん！患者さんとゆっくり会話をする時間もなく業務をこなしている様な感覚に陥ってしまい、今の私には「個別性のある看護」はできていないなと葛藤する日々がここ数年続いていました。

そんな時、縁あって島前病院に来る事になりました。ここでは私の目指す「個別性のある看護」がごく自然に、当たり前のようになされていたのです。

ここでは患者さんへの対応にマニュアルは存在しません。「通常ならこうかもしれない。そうした方が良さそうだけど、〇〇さんの場合それはちょっと難しいからこうしましょう」とその方にあった方法の提案をされます。これって簡単なようでとても難しい事です、ちゃんと患者さんを看ていないと出てこない言葉だったりします。

地域性もあるとは思いますが、患者さんやご家族との距離がとても近く、その方の背景をしっかりと把握したうえで臨機応変な対応が出来る、そう感じました。ここでの看護を自分のものにしたいと思いこの6ヶ月間過ごしてきました。

患者さんのご自宅に伺って生活環境を実際に見させてもらい、あの場所には手すりがないから反対側の廊下を通った方が安全だと思います。と具体的な提案をする事ができる





よくなった。担当の患者さんにトラブルが発生したときは、主治医やご家族を交え何度も対応を話しあった事もありました。目を合わせ笑ってくれた日は本当に嬉しかった。

“患者さんに向き合い、背景を知ってこそ1対1の看護ができる。”

改めて実感する事ができました。

ここに来るまでは忙しさを理由にして患者さんと正面から向き合う事をどこかさせていたのかもしれませんが。

「ここでは患者さんの事を一番よく知っている人の意見が1番！」ここに来た初日に言われた言葉です。

〇〇さんの事なら梅野さんに聞けばいいよ、そう言われるようになるため。

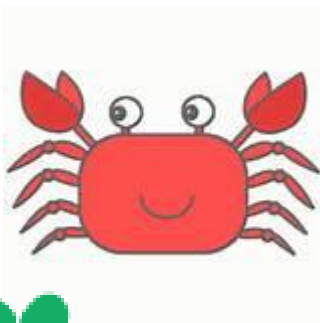
これからも沢山の方と正面から真剣に向き合っていきたいと思います。

隠岐での半年間の研修を終えて、来月にはミャンマーという国での研修が始まります、ここで経験した事、感じた事を活かし患者さんの為に出来る事を全力でやってこようと思います。

最後になりましたが、この半年間で様々な方に出会い（なんと！同じ対馬出身の方にも！！）声をかけてもらい元気を頂いたり、20年ぶりに海に入って遊んだり、国賀や魔天崖など素晴らしい景色に心癒され充実した日々を過ごす事が出来ました。

ここで出逢った縁をずっと大切にしていきたいと思っています。

短い間でしたが本当にありがとうございました。





3. 病児病後児保育について



病児・病後児保育が始まりました！

院内で病児・病後児保育が開始しました。今までは町内の保育園で行っていた事業ですが、当院が引き継ぐこととなり、2名の保育士さんを迎えて6月より本格的な活動を開始しています。

3名定員のため、1人1人の細かなところまで対応していただけるので、利用していただいた方からも好評をいただいております。小さいお子さんは体調を崩すことも多いので、仕事をもっている親御さんには、強い味方となるのではないかと考えています。

実際私も1度利用させていただきましたが、保育士さんもととても良い方々で子供もすぐに雰囲気慣れ、「また、病院の保育園に行きたいな～」と言うほど子供は気に入っていました。親としても病院にあるというのでとても安心感がありました。

急に子供が体調を崩したけど、仕事も休めないという際には、このような事業も行っておりますので、ぜひお問い合わせください。

おわりに

いつも「だんだん」のご愛読、ありがとうございます。お陰様で院内広報誌「だんだん」も13号まで刊行することができました。

3月に発行しただんだん12号から季節はすっかり夏に変わり、暑さも本格的になってきました。また、病院内では病児病後児保育も少しずつですが軌道に乗り始めました。当院の職員も利用しています。

暑さに負けずにこまめな水分摂取を心がけて夏を乗り切ってください！！

地域に密着した病院であるために、患者様の声は私どもの励みになります。病院へのご要望など、何かお気づきの点があれば、お気軽に声を掛けてください。次回のだんだんもどうぞ期待ください！！

隠岐広域連合立 隠岐島前病院
〒648-0303
島根県隠岐郡西ノ島大字美田 2071-1

TEL 08514-7-8211

FAX 08514-7-8702

MAIL (看護部)
dz-kaigo@asahi.email.ne.jp

